

家庭や地域で取り組む防災対策を！

大切な命を守るために、災害への備えは万全ですか？

平成24年7月に起こった「九州北部豪雨」では、県内でも水害や土砂崩れなどの甚大な被害がありました。これからの季節は、大雨や洪水、土砂災害などに、特に注意する必要があります。日ごろから家庭や地域防

でも水害や土砂崩れなどの甚大な被害がありました。災に対する意識を高め、しっかりと準備をしておくことが大切な命を守ることに繋がります。

大雨による緑川での水害を想定した避難活動

西寒野区自主防災会

●避難勧告発令での住民誘導や避難援護の訓練を実施

6月22日（日）、西寒野区自主防災会（遠山敏勝区長・

156世帯）では、同区の住民を対象に自主防災避難訓練を行いました。

訓練は、大雨・洪水警報が発令され緑川の増水・氾濫

（はんらん）による水害および土砂崩れ災害が発生し、同区内の道路の一部が冠水し通行不可能となり、各組に負傷者が発生したという想定で実施されました。

町防災行政無線での避難勧告発令後、すぐに自主防災会役員が避難所の西寒野公民館に集合し、災害対策本部を設置。住民の避難誘導や負傷者の避難援護を行いました。

約80人の住民の避難が終了し、避難状況の確認・報告まで行い訓練は終了。集まった住民に対して、遠山区長は「災害はいつ起こるか分からないからこそ、日ごろからの防災への意識付けが大切です」と訴えました。



●避難所の災害用物資や消火器などの取り扱いを確認

その後、避難所に設置してある災害用物資の確認や地元消防団による消火器の取扱いについての講習、停電時に公民館で使用する発電機の取扱



い方法などの説明を行いました。

参加した住民は「これから大雨などで災害が起きる可能性が高くなる時期なので、地域全体で訓練や物資の確認などができてよかった」と話しました。



西寒野区長
遠山 敏勝さん

良い起路確今皆付しすい未
組の害難把の識も動なをき
災にのがと住のい、行感害が
防実の全と練災害もにかて、と
は、た民きこのの訓練にときよ
所、つ住での回さんをしてよ
こを認の回さんをしてよ